

逗子市下水道事業の 概要と財政状況について

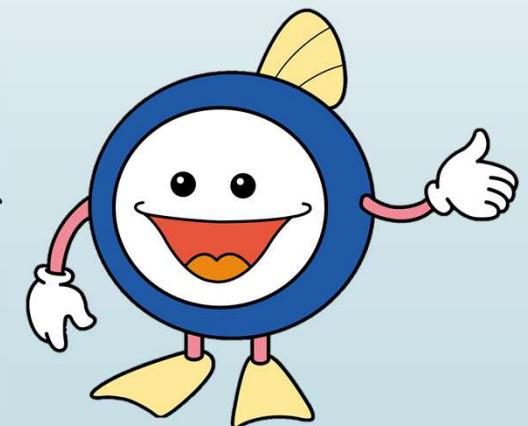
1

逗子市環境都市部下水道課

2

(1) 下水道事業の概要

まずは、下水道事業
のあらましを紹介
します



下水道マスコットキャラクター スイサイ

下水道の役割って何があるの？

3

街を
浸水から守る

街を
清潔にする

身近な
環境を守る

(下水道整備前)



下水道整備
により…

(下水道整備後)



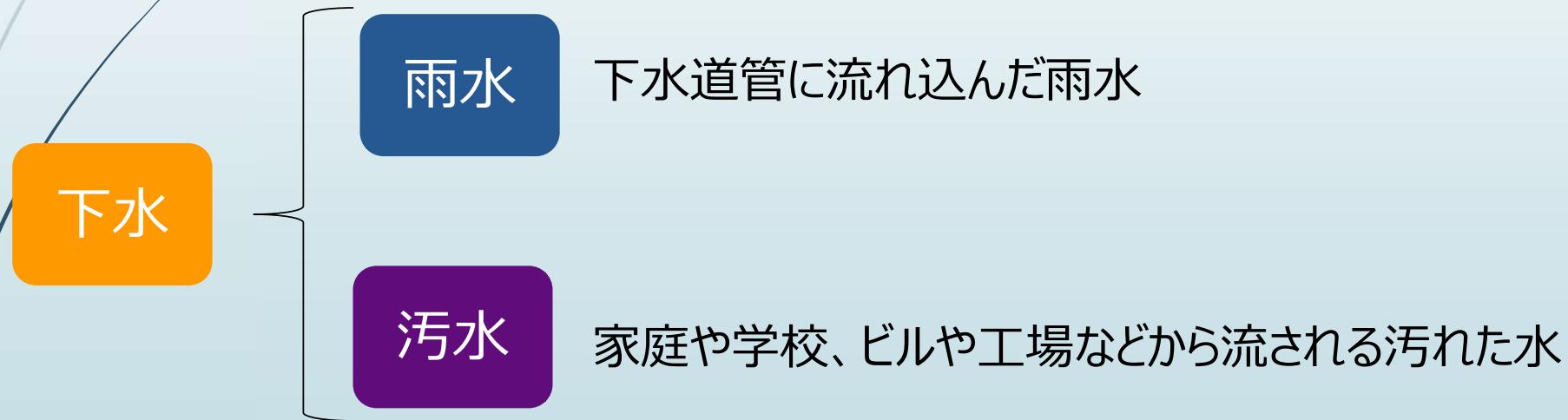
水路に生活雑排水が流れ込み、
悪臭や害虫が発生していました。

道路がきれいに舗装され、
生活環境が改善しました。

雨水ってなに？汚水ってなに？

4

- ▶ 私たちが台所やお風呂などの毎日の生活で使った水や、トイレから流れる水を「汚水」といいます
- ▶ また、汚水と雨水を合わせて、「下水」といいます



汚水の処理方法について

5

- 逗子市では浄水管理センターで汚水をきれいにしたあと、海へ放流します

【下水処理の主な方法】

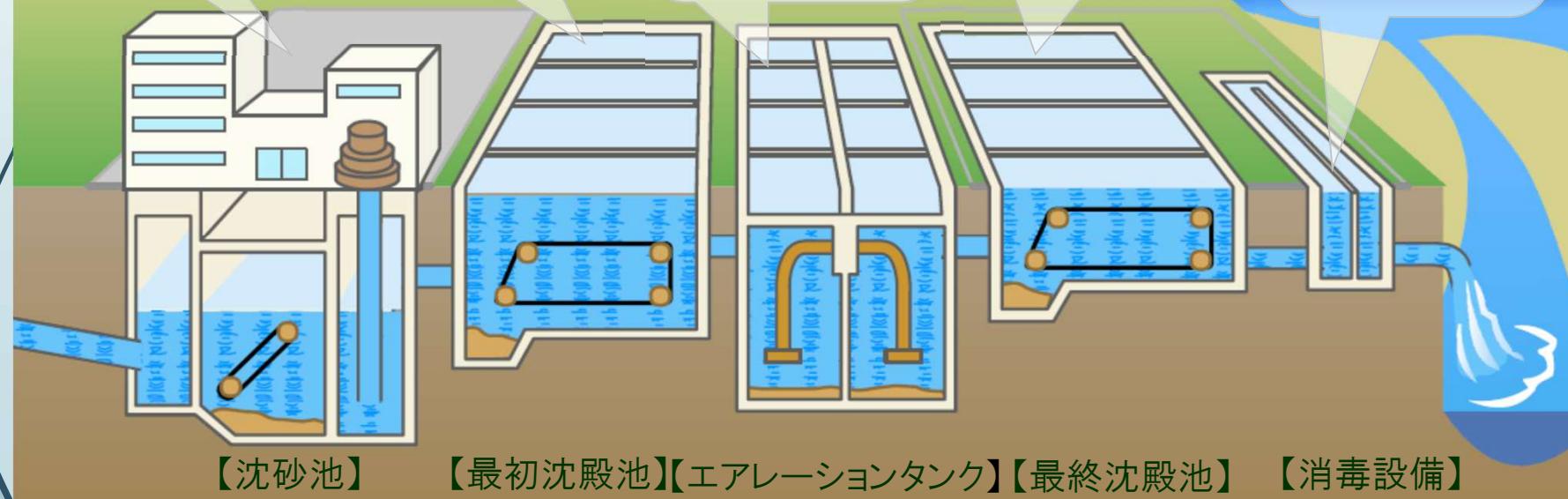
大きなごみ
や砂を取り
除きます

細かい汚れを、
時間をかけて
沈めます

微生物が下水
の汚れを食べ
ます

汚れを食べて大
きくなったり微
生物が沈みます

塩素で消毒し、
川や海に放流
します



(2) 逗子市の下水道事業の現状

次は、逗子市の下水道が
今、どんな状況にあるか
紹介します



逗子市の下水道事業について

7

▶ 逗子市で下水道が使えるようになって **53年**※

▶ 昭和36年の集中豪雨により甚大な被害を受けたことから、下水道整備に着手し、その後昭和47年度に汚水処理の供用を開始しました



※令和7年度時点

<完成した浄水管理センター 昭和47年>

逗子市の下水道事業について

8

- ▶ 人口普及率は **100%** 水洗化率は **99.0%**
- ▶ 平成14年度にいち早く達成し、現在は市内のどこに住んでも下水道に繋ぐことができます

《近隣市町との人口普及率の比較》

逗子市	横浜市	鎌倉市	葉山町	横須賀市
100.0%	100.0%	97.8%	76.5%	98.3%

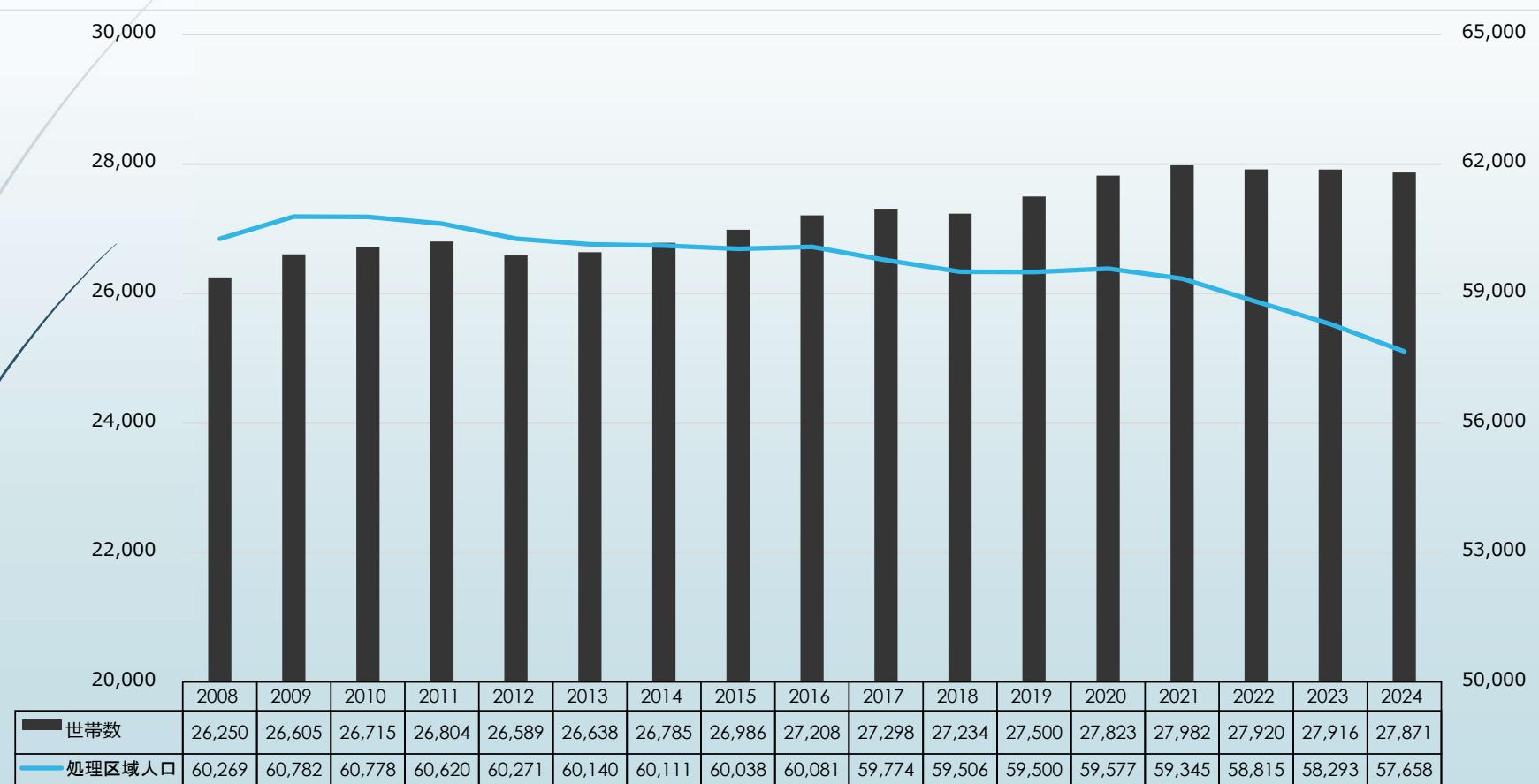
※県及び他市町は令和5年度末時点

処理区域内の人口について

9

世帯数
(単位: 世帯)

処理区域内人口
(単位: 人)



下水道施設（管きょ）について

10

- 下水管の総距離は **256km**※
- 逗子駅から名古屋駅くらいまでの距離です



※令和6年度末時点

下水道施設について

11

▶ 中継ポンプ場は

2か所

終末処理場は

1か所



浄水管理センターについて

12

- ▶ 1年間で処理する水量は**約950万m³**※1
- ▶ 東京ドームでいうと約7.7杯分の量になります※2



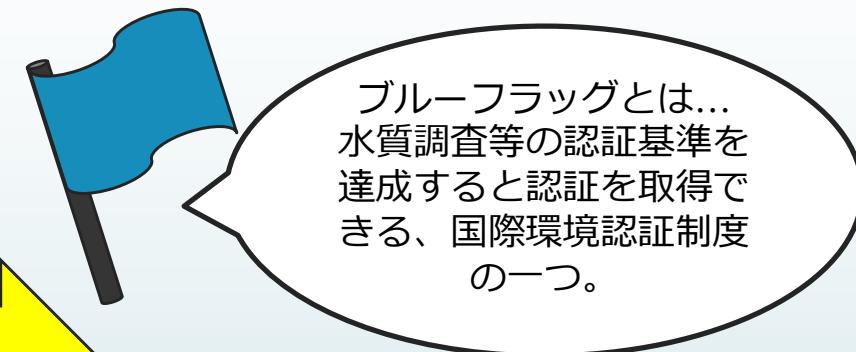
※1 過去5年間の平均 (R2～R6)

※2 東京ドームを124万m³とした場合

浄水管理センターについて

13

- 汚水は、約12時間かけてきれいな水に処理されます
- 令和4年から4年連続で
逗子海岸はブルーフラッグを取得



下水道施設の老朽化と対策について

14

- ▶ 令和 6 年度末で供用開始から、53 年が経過
- ▶ 施設は「維持管理する時代」から「再整備の時代」へ変化
- ▶ 施設の老朽化が進み、改築・更新費用が増大傾向
- ▶ 令和 3 年度には浄水管理センター再整備基本構想を策定し、令和 7 年度には日本下水道事業団と協定を結び、基本計画の策定に向けて動き出しています

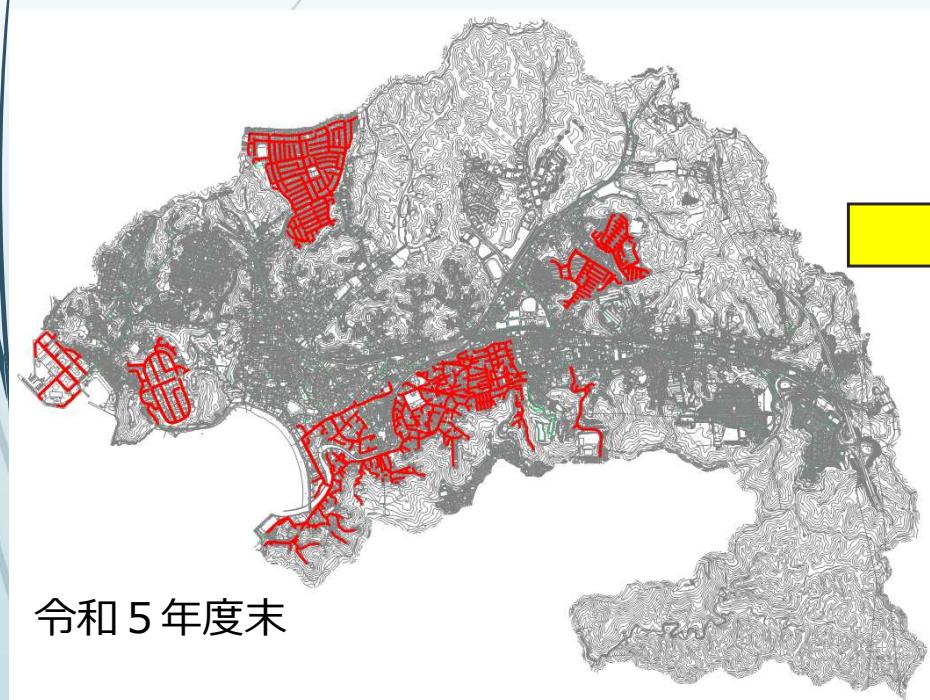
下水道を安全・安心して
長く使えることが
大事だね



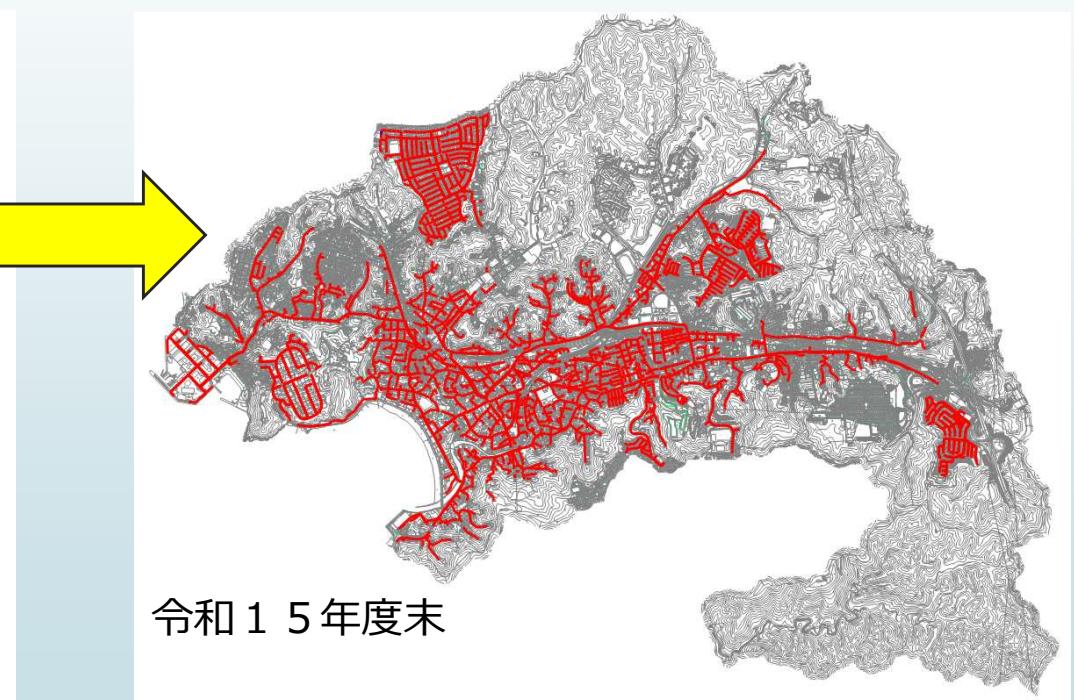
施工後50年を経過した管きょ

15

- 10年後には、施工から50年（標準耐用年数）を超えた管きょが市内全域に広がることが想定されます



24.71%と想定



56.43%と想定

管きよの維持管理

16

令和6年度 清掃・工事：52件 約27,722千円

取付管の破損・詰まり



施工後



取付管の破損・詰まり
(木根による閉塞)



清掃・除去後



マンホール蓋の維持管理

17

令和6年度 工事：24件 約17,843千円

施工前



既設マンホール蓋の撤去



蓋枠の設置



完了



管きよの建設改良工事

18

〈合流改善工事〉

- ・逗子第5分区雨水渠整備工事 58,843 千円

〈浸水対策〉

- ・内水浸水想定区域図作成業務 10,263 千円
(R5-6継続費；全体事業費 109,472 千円)

〈地震対策〉

- ・管路耐震化工事 0円 (67,870 千円※建設改良繰越)
- ・マンホールトイレシステム設置工事 (沼間中学校) 23,406 千円

〈長寿命化〉

- ・下水道管路 (106路線) 管更生工事 0円 (55,924 千円※建設改良繰越)

作成した内水浸水想定区域図は市HPでもご覧いただけます！



処理場・ポンプ場施設の建設改良工事

19

老朽化した処理場・ポンプ場施設の設備はストックマネジメント計画に基づき計画的に改築・更新しています。

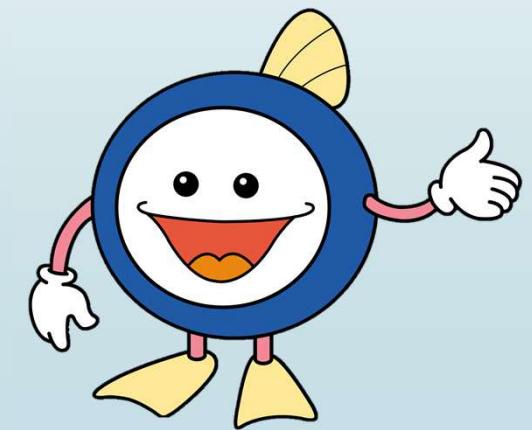
＜令和6年度実施工事＞

- ・桜山第1マンホールポンプ場No.2ポンプ及び
沼間第1マンホールポンプ場No.2更新工事 4,565千円
- ・No.1, No.2汚泥脱水機用減速機等更新工事 39,800千円
(R5・6継続費；全体事業費 74,800千円)
- ・第3系列ろ過設備改築工事 1,100千円
(R6・7継続費；全体事業費 445,500千円)
- ・第1系列最終沈殿池汚泥搔き機及び
第3系列海側最終沈殿池汚泥搔き機駆動部更新工事 63,470千円

20

(3) 逗子市下水道事業の財政状況

続いて、現在の逗子市下水道事業の財政状況について説明します。



はじめに

- ▶ 本市の下水道事業は、令和元年度に公営企業会計へ移行しました
毎年、次の財務諸表を作成し、公表しています
 - 損益計算書
 - 貸借対照表
 - キャッシュ・フロー計算書
- ▶ ここでは令和6年度逗子市下水道事業会計決算書などから、本市の下水道事業の財政状況をわかりやすくご説明します

まず最初に

収益的収支と資本的収支について

22

公営企業会計では、
損益にかかる取引（収益的収支）と
投資にかかる取引（資本的収支）を明確に区別しています

収益的取引

おもに下水道施設を維持、管理するための取引

- ・収益的収入・・・下水道使用料など
- ・収益的支出・・・人件費、光熱水費、支払利息など

損益計算書で
収支を把握

資本的取引

おもに下水道施設を整備、改築するための取引

- ・資本的収入・・・企業債など
- ・資本的支出・・・建設改良費、企業債の償還元金など

決算報告書で
収支を把握

損益計算書について

23

平成〇〇年度××町下水道事業損益計算書(イメージ) (平成〇〇年4月1日から平成△△年3月31日まで)	
1 営業収益	61,341,800
下水道使用料	34,575,800
雨水処理負担金	23,049,000
受託事業収益	3,413,000
その他営業収益	304,000
2 営業費用	50,829,100
管渠費	6,161,750
処理場費	18,486,950
受託事業費	3,490,000
総係費	13,565,600
減価償却費	8,146,800
資産減耗費	605,000
その他営業費用	173,000
営業利益	10,712,500
3 営業外収益	1,052,184
受取利息及び配当金	213,140
長期前受金戻入	614,000
雑収益	225,024
4 営業外費用	7,799,700
支払利息及び企業債取扱諸費	7,708,200
雑支出	91,500
経常利益	3,964,984
5 特別利益	70,000
固定資産売却益	70,000
6 特別損失	50,000
減損損失	50,000
当年度純利益	3,964,984
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	0
当年度未処分利益剰余金	3,964,984

3つの段階で利益を把握 利益 = 収益 - 費用

①営業利益

通常の業務活動の損益の結果
が表示されます。

②経常利益

通常の業務活動に関する損益
に加えて資金調達等に関する
損益の結果が表示されます。

③純利益

1年間の全ての損益の結果が
表示されます。

損益計算書からは、下水道施設を
維持・管理するために
どのような経営活動を行い
どのような成績だったのが
わかります

過去の経営を分析し、将来の
方針に役立てることが
できます

出典：総務省「地方公営企業法の適用に関する
マニュアル（平成31年3月改訂版）」

損益計算書を見てみよう

通常の業務活動の成績は、772,665千円の営業損失となりました

※税抜表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
維持管理などにかかる費用	754,471	下水道使用料	761,560
減価償却費	1,047,179	雨水処理負担金	266,602
その他	0	その他	823
営業費用	1,801,650	営業収益	1,028,985

営業収益
(1,028,985)

営業費用
(1,801,650)

営業損失
(-772,665)

プラスなら営業利益
マイナスなら営業損失
になります

損益計算書を見てみよう

25

営業損失と資金調達にかかる収支などを足した、最終的な経営の成績は67,038千円の純損失（赤字）でした

※税抜表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
支払利息	27,195	他会計補助金	275,373
その他	14,170	その他	471,654
営業外費用	41,365	営業外収益	747,027

$$\text{営業損失} (-772,665) + \text{営業外収益} (747,027) - \text{営業外費用} (41,365) = \text{経常損益} (-67,003)$$

プラスなら経常利益
マイナスなら経常損失になります

経常損益とは本業以外の収支も含めた成績のこと
令和6年度は突発的な損益（特別損益）が「35（千円）」だったため、
当年度純損失は67,038（千円）となります。

資本的収支について

資本的収支とは下水道施設を整備、改築するための取引のことで
決算報告書に載せていました

※税込表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
建設にかかる費用	325,568	企業債借入	591,600
固定資産購入費	2,871	他会計補助金	68,351
企業債償還金	260,127	国や県からの補助金	52,657
資本的支出	588,566	資本的収入	712,608

資本的収入と資本的支出との不足分については補てん財源
(減価償却費など現金の支出をともなわない費用等) をあてています

貸借対照表について

平成〇〇年度××町下水道事業貸借対照表(イメージ)			
(平成△△年3月31日)			
【資産の部】	【金額】	【負債の部】	【金額】
定 資 産	388,647,047	定 負 債	158,880,300
有形 固 定 資 産	388,085,147	金 借 額	157,799,700
地 物 10,129,996		リ 一 次 債 務	321,000
建 物 70,396,006		通 貨 債 付 引 金 額	729,000
機 械 264,806,815		負 債 額	8,910,218
機 械 及 び 装 41,063,839		金 借 額	3,007,850
車両 通 貨 2,119,011		リ 一 次 債 務	180,000
工 具 及 び 備 品 2,899,130		未 払 金 額	5,886,068
リ 一 次 資 産 1,725,000		未 払 金 額	5,000
建 築 仮 勘 定 額 0		前 金 額	32,000
減 価 損 計 累 額 ▲ 8,053,700		前 金 額	50,000
無 形 固 定 資 産 541,900		そ の 他 貸 付 負 債 額	95,000
地 物 261,800		負 債 額	3,807,000
地 上 权 58,600		金 借 額	4,421,000
特 許 29,300		リ 一 次 債 務 金 額	▲ 914,000
投 資 有 効 利 用 192,400		負 債 額	171,567,800
投 資 そ の 他 の 資 産 20,000		【資本の部】	【金額】
投 資 有 効 証 明 等 20,000		資 本 金 197,887,757	
定 期 資 産 20,344,980		資 本 金 36,786,632	
現 金 7,745,284		資 本 利 余 金 32,761,868	
預 金 10,842,298		再 評 価 備 積 立 金 32,742,868	
資 本 引 当 金 ▲ 200,000		受 領 財 產 評 価 額 38,800	
貯 金 2,910,100		利 益 利 余 金 3,984,964	
預 貸 費 用 50,000		減 債 積 立 金 0	
資 産 合 計 408,991,897		当 年 度 未 預 分 利 益 利 余 金 3,984,964	
		資 本 合 計 234,424,300	
		負 債・資 本 合 計 408,991,897	

資産の部

土地、建物、権利、現金・預金など企業の所有財産が記載されています。

左半分は「企業の持ちもの」

企業の財産がどのような状態で、いくらあるか把握できます。

負債の部

企業債など支払義務があるものなどが記載されています。

資本の部

資本金や事業で得られた利益などを返す必要のない資金が記載されています。

貸借対照表からは
どのような資金調達を行い
どのような資産を得ている
かがわかります

出典：総務省「地方公営企業法の適用に関するマニュアル（平成31年3月改訂版）」

貸借対照表を見てみよう

28

資産を形成するための財源が負債と資本であり、
資産 = 負債+資本になります

※税抜表示

項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
有形固定資産	13,153,861	企業債	3,405,414
無形固定資産	99,520	固定負債の合計	3,405,414
固定資産の合計	13,253,381	1年以内に返済する 企業債	261,808
現金	952,547	未払金	218,887
未収金	158,407	その他	8,891
前払金	26,020	流動負債の合計	489,586
流動資産の合計	1,136,974	繰延収益の合計	5,688,699
		負債の部 合計	9,583,699
		資本の部 合計	4,806,656
資産の部 合計	14,390,355	負債・資本の部 合計	14,390,355

キャッシュ・フロー計算書について

平成〇〇年度××町下水道事業キャッシュ・フロー計算書(イメージ)
(平成〇〇年4月1日から平成△△年3月31日まで)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	3,984,964
減価償却費	8,146,800
減損損失	50,000
長期前受金戻入額	▲ 614,000
受取利息及び配当金	▲ 213,140
支払利息及び企業債取扱諸費	7,708,200
固定資産除却損	557,000
固定資産売却損益(▲は益)	▲ 70,000
未収金の増減額(▲は増加)	▲ 2,541,888
未払金の増減額(▲は減少)	2,086,074
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲ 30,959
引当金の増減額(▲は減少)	968,000
その他流動資産の増減額(▲は増加)	▲ 25,000
その他流動負債の増減額(▲は減少)	▲ 10,000
小計	19,976,241
受取利息及び配当金	213,140
支払利息及び企業債取扱諸費	▲ 7,708,200
業務活動によるキャッシュ・フロー	12,481,181
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲ 38,396,800
有形固定資産の売却による収入	300,000
無形固定資産の取得による支出	▲ 65,000
一般会計等繰入金による収入	3,500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 34,661,800
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債による収入	25,000,000
企業債の償還による支出	▲ 3,076,940
リース債務の支払額	▲ 160,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,762,260
資金増加額(又は減少額)	▲ 418,359
資金期首残高	7,163,753
資金期末残高	6,745,394

業務活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務活動の実施による
資金の収支や投資活動、財務活
動以外の収支が表示されます。

投資活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務活動の基礎となる
固定資産の取得及び売却の収
支が表示されます。

財務活動によるキャッシュ・フロー

増資、減資による収支や資金調
達、返済に関する収支が表示さ
れます。

キャッシュ・フロー計算書
とは資金の収支状況を活動
別に表示するもので、
現金の収入・支出について
把握することができます

出典：総務省「地方公営企業法の適用に関するマニュアル
(平成31年3月改訂版)」

キャッシュ・フロー計算書を見てみよう

業務、投資活動によるキャッシュ・フローはプラスでしたが、財務活動によるキャッシュ・フローはマイナスでした

※税抜表示

項目	金額（千円）
当年度純損失	- 67,038
減価償却費	1,047,179
その他	- 410,498
支払利息	- 27,195
業務活動によるキャッシュ・フロー	542,448
有形固定資産の取得による支出	- 793,024
無形固定資産の取得による支出	- 99,520
国庫補助金などによる収入	131,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	-761,066
企業債の借入による収入	591,600
企業債の償還による支出	- 260,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,473
資金増加（マイナスは減少）額	112,855

キヤッショ・フロー計算書の読み方の例

《令和6年度のキヤッショ・フロー》

業務活動	投資活動	財務活動	資金増加額
542,448 (プラス)	-761,066 (マイナス)	331,473 (プラス)	112,855

《読み方の例》

令和6年度はここでした

	業務活動	投資活動	財務活動	読み方
パターン①	プラス	マイナス	マイナス	本業の現金出納はおおむね良好 借金を返済しつつ投資も行っている ことが想定される
パターン②	プラス	マイナス	プラス	本業の現金出納はおおむね良好 投資の財源を借金に依存しているこ とが想定される
パターン③	マイナス	マイナス	プラス	本業の現金出納が厳しい 日常の資金繰りも借金に依存してい ることが想定される

経営指標について

- 経営の現状および課題を把握するために、ほかの団体と比較可能な「経営分析比較表」を作成しています
- 《経営分析比較表のおもな指標》
 - 経常収支比率
 - 流動比率
 - 経費回収率
 - 有形固定資産減価償却率
 - 污水処理原価

※なお、類似団体とは総務省が公表しているもので、本市は以下の区分に該当します

処理区域内人口	処理区域内 人口密度	供用開始後年数	同規模団体数
3万人以上 10万人未満	50人/ha以上 75人/ha未満	30年以上	66

(令和5年度末時点)

●経営指標～経常収支比率～

- ▶ 使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息などの費用をどの程度まかなえているかを表す指標
- ▶ 100%を下回ると単年度の収支が赤字であり、経営改善に向けた取り組みが必要になると考えられます

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
逗子市	93.3%	94.9%	95.0%	97.6%	95.2%	96.4%
類似団体平均値	106.3%	106.7%	106.9%	106.7%	106.7%	—

●経営指標～有形固定資産減価償却率～

34

- 有形固定資産の老朽化度合いを表す指標で、数値が高いほど法定耐用年数（50年）に近い資産が多いことを示す
- 将来の施設の改築（更新・長寿命化）などの必要性を推測することができます

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
逗子市	7.9%	15.5%	21.4%	25.0%	29.6%	34.3%
類似団体平均値	21.2%	23.2%	25.2%	27.4%	30.0%	—

●経営指標～流動比率～

35

- ▶ 短期的な債務に対する支払能力を表す指標
- ▶ 100%を下回ると、1年以内に現金化できる資産で1年以内に支払わなければならぬ負債をまかなえていないということ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
逗子市	27.8%	44.9%	64.9%	118.4%	99.6%	232.2%
類似団体平均値	71.5%	67.9%	72.9%	81.2%	85.9%	—

●経営指標～汚水処理原価～

36

- ▶ 有収水量(※) 1 m³当たりの汚水処理にどれだけコストがかかったかを表した指標
- ▶ 他団体などと比較してあまりに高い場合には投資の効率化などの経営改善を行う必要があると考えられます

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
逗子市	120.3円	150.0円	144.3円	150.0円	150.1円	150.0円
類似団体平均値	141.2円	136.9円	138.5円	138.7円	139.1円	－

※有収水量とは、上水道の使用水量など使用料の算定基準になる水量のこと

●経営指標～経費回収率～

37

- ▶ 使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料でまかなえているかを表した指標
- ▶ 100%を下回っている場合、汚水処理にかかる費用が使用料以外の収入によりまかなわれていることを意味するため、適正な使用料収入の確保や、汚水処理費の削減が必要と考えられます

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
逗子市	85.1%	72.5%	70.1%	78.6%	83.1%	84.1%
類似団体平均値	88.1%	91.1%	90.7%	90.5%	92.7%	—